

## 第6回 理事会

日 時：平成29年10月12日(木)12：10～12：55

場 所：岡山理科大学50周年記念館 3F会議室A

出席者：脇坂会長(議長)、木方副会長、茶石副会長、清水常務理事、伊藤、稲垣、井口、太田、大沼、北田、黒木、小松原、金、鈴木、高橋、高見、中曾根、原、向山各理事、(理事23名中19名出席(過半数)により理事会は成立)  
奥田監事

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

1. 前回議事録の確認  
・平成29年9月19日開催の第5回理事会の議事録を承認した。
2. 審議事項  
1) 会員状況及び新入会員の承認  
・事務局長から会員状況について説明があり、2名の正会員、1名の学生会員の入会について承認した。  
・10月10日時点で、正会員、学生会員の合計が1,889名であることを確認した。  
2) 特別委員会(名誉会員、功績賞選考、論文賞選考)の設置  
・常務理事から「平成30年度選考特別委員会の選任について」が説明された。

下記の選任結果について承認した。

### 名誉会員・功績賞選考特別委員会

委員長：茶石副会長、清水総務委員長、原事業企画委員長、大沼、小松原各理事、蚊爪委員(総務委員会)、鈴木委員(編集委員会)、長谷川委員(事業企画委員会)、菊地委員(国際委員会)、笠委員(研究企画委員会)、三好委員(広報・情報委員会)

### 論文賞選考特別委員会

委員長：茶石副会長、向山編集委員長、金理事、小松原理事、神崎委員(総務委員会)、竹村委員(編集委員会)、田中委員(事業企画委員会)、山田委員(国際委員会)、品川委員(研究企画委員会)、浦越委員(広報・情報委員会)

- 3) 社会貢献と魅力発信特別委員会運営規程の制定について

- ・常務理事から「社会貢献と魅力発信特別委員会運営規程」の説明があり、下記の変更案で承認した。  
第2条 特別委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号の業務を行う。
  - 一 アウトリーチ活動の支援に関する事項
  - ① 地域向けの災害調査報告会・現地説明会の開催
  - ② 市民向け行事の開催：市民向け講演会、ジオガ

イド・ツアー、防災まち歩き

- ③ 小中高生・教員向けの出前授業・見学会・防災まち歩き
  - ④ 生徒、一般向けのパブリックの企画
  - ⑤ その他の応用地質学に関わるアウトリーチ活動
- 二 ジオパーク等の応用地質学が貢献できる社会貢献活動の推進に関する事項
  - 三 支部および関連学協会と連携して学会等の社会貢献活動の発信に関する事項
  - 四 その他の事項

- 4) 平成30年度研究発表会関連

・担当理事から、平成30年度研究発表会の日程、場所が変更されたことが報告され、下記の内容で承認した。

日 時：平成30年10月16日(火)～17日(水)(見学会は18日(木))

場 所：札幌教育文化会館

・平成31年度研究発表会(北陸支部)については、他学協会との日程重複を避けるため、できるだけ早く(平成30年6月頃まで)決定するように事前準備を行うこととした。

3. 確認事項

- 1) 収支状況

・事務局長から平成29年度9月期の収支計算書が説明された。会費納入の督促が奏功し、未納者約40名からの納入があったことで、会費収入は前年並み以上で進んでいること、支出ではほぼ前年同月並みで推移していることが報告された。

- 2) 職務執行状況の報告(平成29年度前半)

・会長、両副会長、常務理事から平成29年度前半の「職務執行状況の報告」が説明された。

- 3) 60周年記念行事関連

・木方副会長から60周年記念行事関連の作業状況が報告された。巡航クルーズのルート及び案内者を検討中であり次回理事会で報告する予定である。

- 4) 内規について

・常務理事から平成28年6月以降に理事会承認を得た内規についての説明があった。内規として取り扱う上で文面のチェック等が必要であり、次回理事会で改めて審議することとした。

4. 本部からの報告事項

- 1) 他学協会からの依頼

・人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会から入会の依頼があり、応用地質学教育普及委員会、社会貢献と魅力発信に関する特別委員会に意見聴取中であることが報告された。

・日本工学会から、「平成30年度役員立候補学協会の

受付」の説明があり、当学会としては対応しないことが報告された。

- ・福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会から、「学協会第4回全体会」の案内があり、環境地質研究部会、地下水研究部会、廃棄物小委員会に打診中であることが報告された。
- ・日本工学教育協会から「第22回(2017年度)工学教育賞の推薦について」の依頼があり、総務委員会で協議し、次回以降の理事会で報告することとした。

## 2)第15回海外応用地質学調査団について

- ・茶石副会長から調査団の活動スケジュール、参加メンバーについて説明があった。まだ追加の参加は可能とのことである。

## 3)第5回防災連携体シンポジウムについて

- ・常務理事から12月20日開催の標記シンポジウムについて説明があった。「2017年九州北部豪雨調査団」の井口団長が活動成果を発表する予定である。